

# Express5800/R110m-1M

本ページの内容は、限られた評価環境における検証結果に基づいた動作確認情報です。

なお、ハードウェアの導入・購入に関するご相談は以下にお問い合わせ下さい。

[ファーストコンタクトセンター](#)

## 記号の意味

- ◎…当該ディストリビューションで動作可能
- …当該ディストリビューションに最新ドライバ等を適用し動作可能
- ×…動作不可
- …未サポート
- 空欄…未確認

## 製品情報

型番	装置名称
N8100-3040Y	Express5800/R110m-1M [8x2.5型ドライブモデル](U.3 NVMe x1/SAS/SATA)
N8100-3041Y	Express5800/R110m-1M [8x2.5型ドライブモデル](U.3 NVMe x4)
N8100-3042Y	Express5800/R110m-1M [4x3.5型ドライブモデル]

## ハードウェア構成

構成	ドライブ	構成概要
1	RAID	N8103-248 RAIDコントローラ(RAID 0/1, 専用スロット型, 標準ヒートシンクタイプ) 増設用 HDD
2	RAID	N8103-249 RAIDコントローラ(4GB, RAID 0/1/5/6, 専用スロット型, 標準ヒートシンクタイプ) 増設用 HDD
3	RAID	N8103-250 RAIDコントローラ(8GB, RAID 0/1/5/6, 専用スロット型, 標準ヒートシンクタイプ) 増設用 HDD
4	RAID	N8103-251 RAIDコントローラ(RAID 0/1, PCIカード型) 増設用 HDD
5	RAID	N8103-252 RAIDコントローラ(8GB, RAID 0/1/5/6, PCIカード型) 増設用 HDD
6	RAID	N8103-253 480GB OSブート専用SSDボード(RAID 1, 専用スロット型) 増設用 HDD
7	SATA HDD	増設用 HDD

※本装置のLinuxOSではオンボードRAID機能は使用できません。

## 動作確認

評価項目	結果		コメント
	構成1,2,3,4,5,6	構成7	
OSのインストール	◎	◎	ディストリビューションのCD/DVDメディアから起動してインストール。(注1)
作成パーティション数	14	14	ドライブ全領域を使用。
ハードドライブ	◎	◎	ファイルのコピー/比較動作を確認。
RAIDドライブの縮退動作	◎	—	I/Oアクセス、再起動を実施。
RAIDドライブの再構築	◎	—	I/Oアクセス、再起動を実施。
負荷ランニング	12h	12h	各ドライブ、ネットワークへの連続負荷時間。
再起動	10	10	繰り返し回数。

(注1)インストール後のアップデート手順

以下の手順でインストール後にアップデートを実施します。

Starter Packの適用

以下の手順でStarter Packを適用する必要があります。

Starter Packをマウントし、Starter Pack 内の packages 配下で以下のコマンドを実施します。

smartupdate deployコマンド実行中、次のエラーメッセージが出力される場合がありますが、特に影響ないため無視してください。

```
dracut[xxxxx]: Failed to install module qedr
```

```
dracut[xxxxx]: Failed to install module iavf
```

```
# ./clean-cache.sh
```

--> "Are you sure you want to delete SUM cache files?" の問い合わせには "y" を入力します。

--> "Press Enter to continue" の問い合わせにはEnterキーを押します。

```
# ./smartupdate --s --softwareonly --ignore_tpm --ignore_warnings -ilo_username [iLO Username] -ilo_password [iLO Password]
```

実施後、システムを再起動します。

※使用するStarter Packのバージョンは動作確認ディストリビューション一覧を参照願います。

## ■共通動作確認

評価項目	結果	コメント
X Window System の動作	◎	解像度 1280x1024 の表示、マウス・キーボードの機能。
標準LANポート	◎	sshでログインできる、ftpで100MBのファイルが転送できる。
CPUの認識	◎	cat /proc/cpuinfo にて、動作周波数、論理CPU数を確認。
メモリの認識	◎	cat /proc/meminfo にて総容量を確認。
光ディスクドライブ	◎	ファイルのコピー/比較動作を確認。
Flash FDD	◎	
シリアル・ポート	◎	設定を行うことで、コンソール出力が表示され、ログインできる。
マネージメントコントローラチップ リモートコンソール/リモートメディア	◎	<ul style="list-style-type: none"><li>・リモートコンソールでの表示/操作</li><li>・リモートメディア(DVD/FDD)の認識・使用</li><li>・リモートコンソール/リモートメディアを使用したインストール</li></ul> ※ご使用にはN8115-33「リモートマネージメント拡張ライセンス」の購入が必要です。

## ■動作確認ディストリビューション

ディストリビューション	使用Starter Pack	更新日
RedHat Enterprise Linux 9.6( KERNEL 5.14.0-570.12.1.el9_6 )	S8.10-014.02	2026年3月3日
RedHat Enterprise Linux 9.7( KERNEL 5.14.0-611.5.1.el9_7 )	S8.10-014.03	2026年6月15日